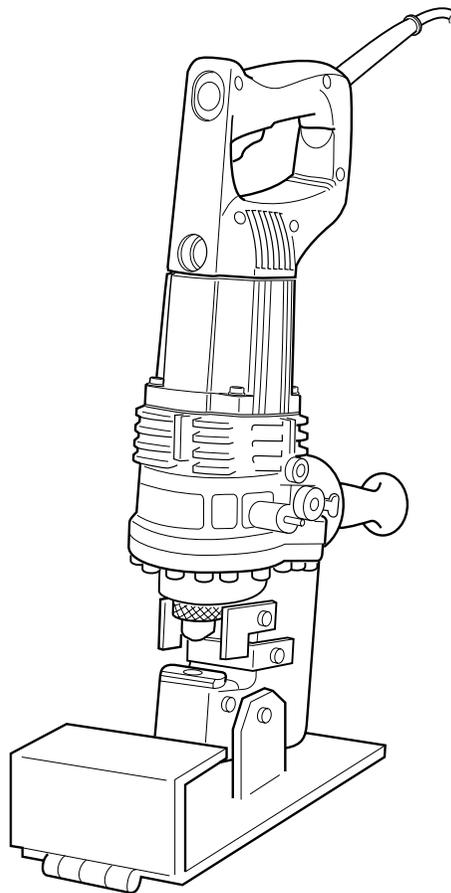




# 電動パンチャー(油圧式)

モデル **PP200**

## 取扱説明書



2重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地(アース)しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびマキタ電動パンチャーをお買い上げ  
賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分  
ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全  
に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

## 目次

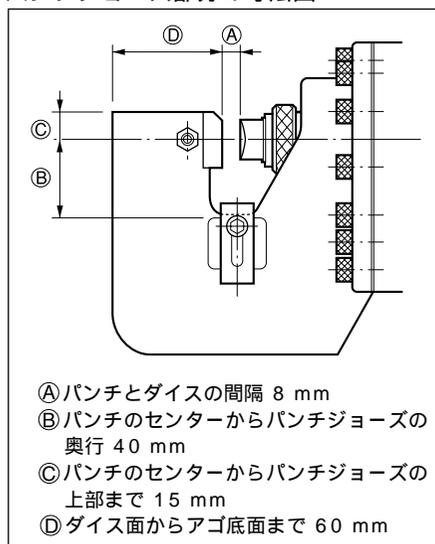
主要機能 .....	2
安全上のご注意 .....	3 ~ 6
各部の名称および標準付属品 .....	7
穴あけ能力 .....	8
刃物の取り付け・取りはずしの手順 .....	9
操作方法 .....	10
保守・点検について .....	11

## 主要機能

モデルNo.	PP200
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相100 V
電流	11 A
周波数	50 - 60 Hz
消費電力	1050 W
穴あけ形状	丸穴 / 長穴
穴あけ材質	SS400 相当品 SUS304
穴あけ能力	別紙参照
穴あけ速度	1.5 秒
質量	11.4 kg
本機寸法	長さ495mm×幅135mm×高さ284mm (グリップ付)

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

パンチジョーズ部分の寸法図



# 安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取扱いに関する重要なお注意。

## 警 告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
5. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

# 安全上のご注意

## 警 告

- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
10. 保護めがねを使用してください。
    - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  11. 防音保護具を着用してください。
    - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
  12. コードを乱暴に扱わないでください。
    - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
    - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  13. 加工する物をしっかり固定してください。
    - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
  14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
  15. 電動工具は注意深く手入れをしてください。
    - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
    - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
    - ・使用しない、または、修理する場合。
    - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
    - ・その他危険が予想される場合。
  17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。
    - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。
  18. 不意な始動は避けてください。
    - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
  20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - ・常識を働かせてください。
    - ・疲れている場合は、使用しないでください。
  21. 損傷した部品がないか点検してください。
    - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

## 警告

- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所にも異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行ってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。  
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

# 安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電動パンチャー(油圧式)として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 注 意

1. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
2. 使用中は、刃物およびその周辺に手や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。
3. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注 意

1. 刃物類は取扱説明書に従って確実に取りつけてください。
  - ・ 確実にでないとはずれたりして、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
3. 使用中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて使用を中止してください。
  - ・ そのまま続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

### 注

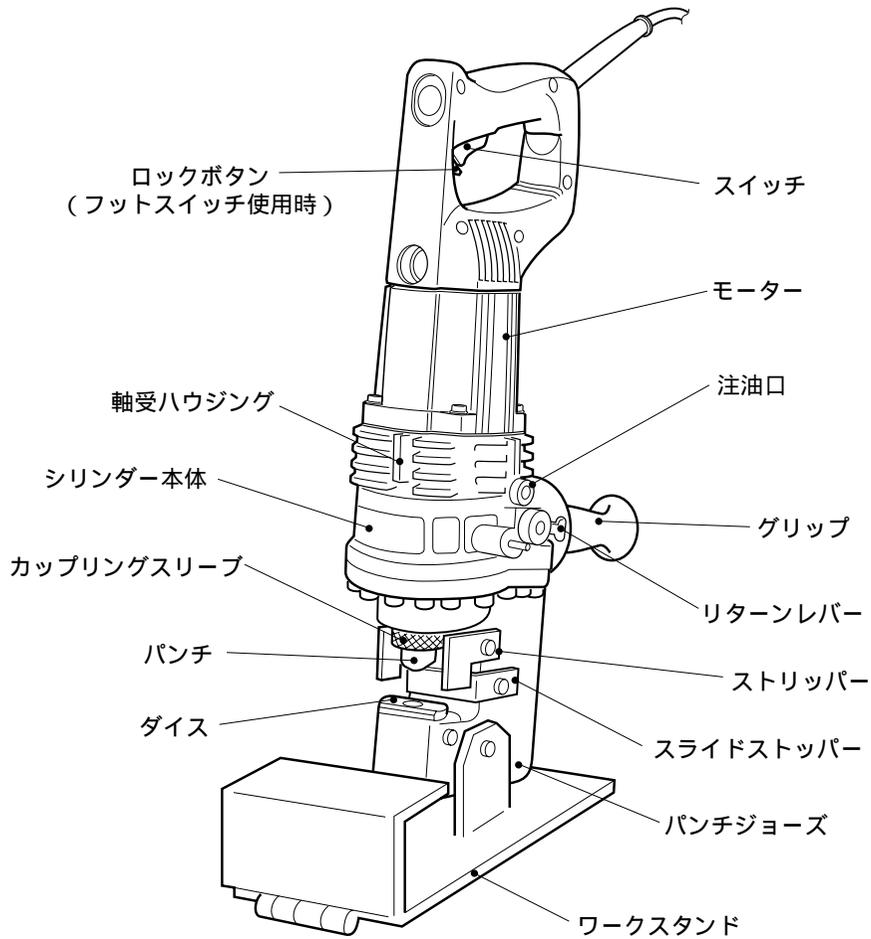
1. 電動パンチャーは電動油圧式です。お求めいただく時には、内部の油量は充填されておりますので、作動不良がないかぎり補充しないでください。
2. 機械に合った純正刃物をご使用ください。
3. 磨耗したり、変形、破損、亀裂などが生じた刃物は、本体の故障の原因となるばかりでなく、事故の原因となる恐れもありますのですみやかに純正刃物と交換してください。
4. 電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの 最大長さ	銘版記載の定格電流値		
		~ 5 A	5 ~ 10 A	10 ~ 15 A
0.75mm <sup>2</sup>	20m	-	-	-
1.25mm <sup>2</sup>	30m	15m	10m	10m
2.0mm <sup>2</sup>	50m	30m	20m	20m

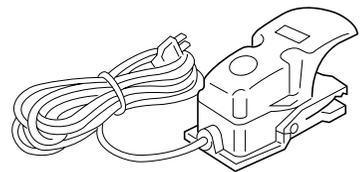
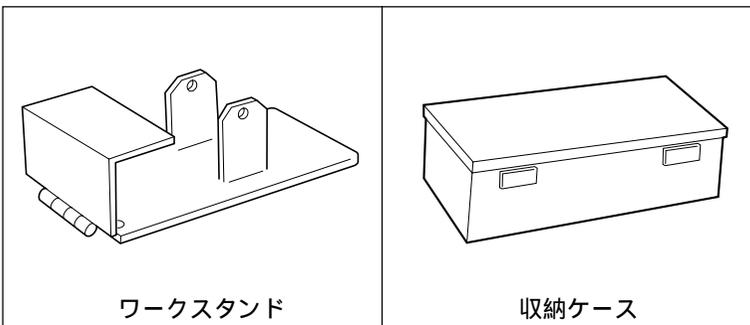
つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

# 各部の名称および標準付属品



## 標準付属品

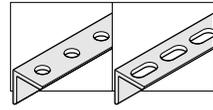
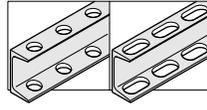
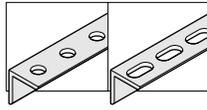
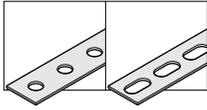
収納ケース .....	1	ワークスタンド .....	1
油圧オイル# 46 (35 cm <sup>3</sup> ) .....	1	工具・スパナ(8×10) .....	1
パンチ(オス)11 mm(本体セット) .....	1	・六角棒スパナ(M3,M4,M5,M6,M8) .....	5
ダイスB(メス)11 mm		<b>別販売品</b>	
(厚板用、本体セット) .....	1	フットスイッチ(コード付) .....	1



# 穴あけ能力

## 加工材

フラットバー(SS400相当品) アングル(SS400相当品) 溝形鋼(SS400相当品) ステンレス鋼(SUS304)



## 能力

穴径寸法と板厚最大寸法(穴あけ材質はSS400相当品)

丸穴能力 (単位: mm)

穴径( )	6	6.5	8	8.5	10	11	12	13	14	15	18	20
板厚(t)	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

長穴能力 (単位: mm)

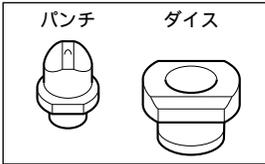
穴径( ×L)	6.5 × 10	6.5 × 13	8.5 × 13	8.5 × 17	9 × 13.5	9 × 18
板厚(t)	6	6	6	6	6	6
穴径( ×L)	10 × 15	10 × 20	11 × 16.5	12 × 18	13 × 19.5	14 × 21
板厚(t)	6	6	6	6	6	6

### 注

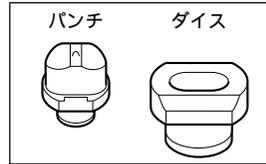
- ・本機、電動パンチャーは各サイズ共、板厚寸法によって、  
 ダイスA(メス)は薄板用(t2 ~ 3.2 mm)  
 ダイスB(オス)は厚板用(t4 ~ 6 mm)に分けて、ご使用ください。
- ・丸穴 11 mm用以外のパンチ、丸穴 11 mm用ダイスB以外のダイスは特別付属品(別販売)となります。

能力以上の材料や寸法での使用は機械の故障の原因となりますので、材質及び穴径、板厚の寸法を必ずお確かめください。

## 丸穴用



## 長穴用



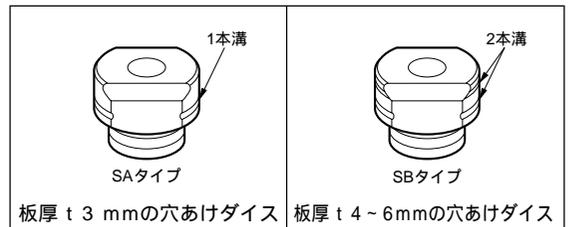
## ステンレス丸穴能力(SUS304)

丸穴能力 (単位: mm)

穴径( )	6.5	8	8.5	10	11	12	13	14	15	18	20
板厚(t)	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6

パンチダイスは、ステンレス専用をご使用ください。  
 ダイスSAは板厚t3 mm用、ダイスSBは板厚t4 ~ 6mm用に分けて、ご使用ください。  
 能力以上の材料や寸法での使用は機械の故障の原因となりますので、材質及び穴径、板厚の寸法を必ずお確かめください。

ステンレス鋼用穴あけの板厚サイズによるダイスの見分け方



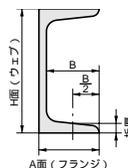
## 溝形鋼A面、穴あけ能力

### 注

- ・溝形鋼A面の穴あけの際はダイスCをご使用ください。

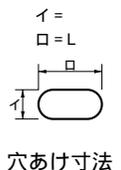
## 丸穴用

穴あけ面	穴径 (mm) 板厚t(mm) 溝形鋼H×A(mm)	10	11	12	13	14	15
A面	75 × 40	7	7	7	7	7	7
面	100 × 50	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5



## 長穴用

A面	イ	10	10	11	12
	ロ	15	20	16.5	18
	板厚(t)	7.5	7.5	7.5	7.5



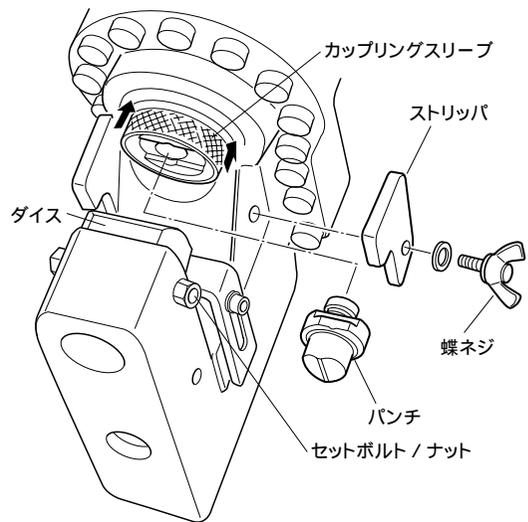
穴あけ寸法

# 刃物の取り付け・取りはずしの手順

## ⚠ 注意

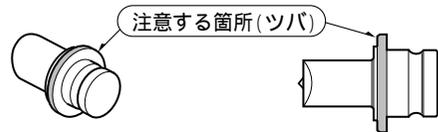
刃物の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。  
・本体が作動して、けがの恐れがあります。

1. 交換を容易にするため片側のストリッパーを取りはずします。
2. カップリングスリーブを矢印方向に押し上げると、パンチの保持が解除されます。引き抜くようにしてパンチを取りはずします。
3. ダイスを取りはずす際は先にパンチを取りはずしてください。ダイスを固定しているセットボルトおよびナットをそれぞれゆるめて、取りはずします。
4. 交換する正しいサイズ、板厚、穴形状のダイスをセットボルトで取り付けます。
5. カップリングスリーブを押し上げて、正しい組み合わせのパンチをパンチロッドに押し込み（このとき長穴パンチには「まわり止め」のツバがありますので、このツバをしっかりとパンチロッド溝へはめ込んでください）押し上げていたカップリングスリーブを解除して、カップリングスリーブが元の位置へ戻ったのを確認してください。

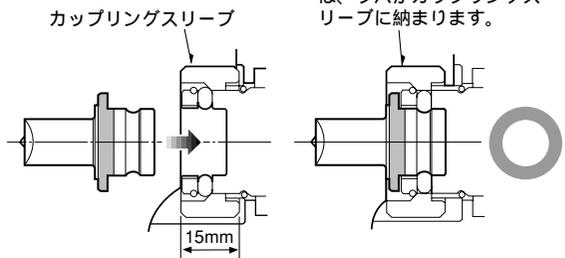


## カップリングスリーブ取り付け時の注意点

まわり止め  
の無いパンチ

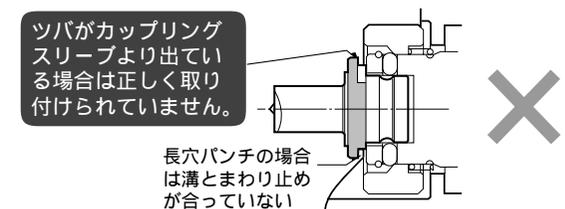


正しく取り付けられた場合は、ツバがカップリングスリーブに納まります。



ツバがカップリングスリーブより出ている場合は正しく取り付けられていません。

長穴パンチの場合は溝とまわり止めが合っていない



## ⚠ 警告

「長穴」用パンチを正しくセットしない場合には、ダイスと緩衝して破損し、事故により負傷するおそれがあります。

必ず「まわり止め」のツバを、「ロッドの溝」へ確実にはめ込んでからセットしてください。

また、正しい組み合わせのパンチとダイスを必ず使用してください。

# 操作方法

1. 穴あけをする位置を確認し、本体のスライドストップにて奥行きを固定してください。
2. 電源が100 Vであることを確認してコンセントへプラグを差し込んでください。
3. 本体側面のリターンレバーが時計まわりの方向にしっかりと締まっていることを確認してください。
4. ロッドが完全に始動位置にもどっていることを確認してください。  
完全に始動位置にもどっていないと、モータは始動してもロッドは前進しません。
5. パンチとダイスの組み合わせが材料、板厚、穴形状、穴径に正しく合致していることを確認してください。
6. ケガキやパンチングによる所定の穴あけ位置にパンチ(オス刃物)先端が降りることを確認して、本体モータのスイッチを引きます。
7. モータが始動しロッドが前進して穴を打ち抜き自動的に始動位置までもどります。この時材料上の穴あけ位置まで正確にパンチの先端を下ろす(前進させる)ためにスイッチを断続的に引くことで、ロッドを徐々に下ろし(前進させ)て位置を確認後、穴あけをすることができます。  
位置がずれている場合には穴あけをせずにリターンレバーを時計まわりと反対方向にゆるめると内部の油圧弁が解放されて、ロッドを始動位置までもどすことができます。
8. また、材料を打ち抜く途中でロッドが止まったり、打ち抜き後にロッドが材料にひっかかってしまった場合には、7. 後半の手順と同様に、リターンレバーをゆるめてロッドを材料から引き抜いてもどしてください。ロッドが始動位置までもどりましたら再びリターンレバーを時計まわり方向に締めてください。リターンレバーをゆるめてもパンチ刃先が材料にくいこんでロッドがもどらないときは、リターンレバーをゆるめたまま、ハンマーなどで、材料の両端を均一に軽くたたきながらはずしてください。  
こうした状態が頻繁に起きる場合は、次の①~③の内容をもう一度確認してから操作してください。
  - ① 材料の板厚に対して正しいダイス(A,Bの区別など)を選んでいるか。
  - ② パンチの刃先や側面に破損や変形、深いキズはないか。
  - ③ 材料が通常のSS400やSUS304相当品か。

# 保守・点検について

## オイルの補充方法

注

オイルはマキタ純正油圧オイル 46をお買い求めください。  
その他のオイルは使用しないでください。

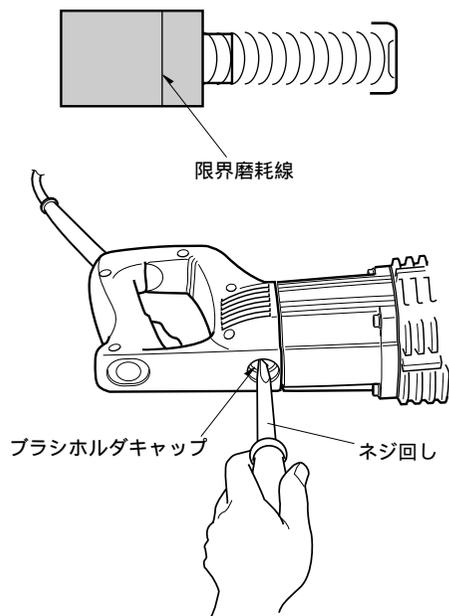
- (1)材料を機械本体にセットし、スイッチを引きます。
- (2)材料に完全に穴があく直前でスイッチをはなし、停止させてください。
- (3)六角穴つきボルトM10 × 15を取りはずして、オイルを補充してください。この時オイルがモータ部に入らないように注意してください。
- (4)六角穴つきボルト M10 × 15 をしっかり締めてください。
- (5)穴があく直前の穴をあけてください。
- (6)上記の手順を数回繰り返してください。

## 点検

- ロッドが前進しない。  
(原因) (1)オイルが少ない。  
(2)穴あけした材料カスがロッドの表面に付着し完全に戻っていない。  
(対策) (1)前述の要領(オイルの補充方法)でオイルを補充する。  
(2)ロッドに傷をつけないようにカスをふきとる。(定期的に清掃する)
- カラ運転ならロッドが前進するが材料を入れると穴あけが出来ない。  
(原因) (1)リリースバルブに鉄粉、ゴミが付着している。  
(2)チェックバルブに鉄粉、ゴミが付着している。  
(3)ウレタンパッキンの消耗。  
(4)ピストンの摩耗。  
(対策) この場合は機械の分解、点検、整備が必要です。  
必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

## カーボンブラシの交換

- カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。  
カーボンブラシが限界磨耗線まで磨耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。  
新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から磨耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。  
カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行ってください。



# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(841) 2201
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈088〉(626) 0555
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈089〉(951) 7666
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(25) 4696	松山営業所	〈0895〉(22) 3785
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(771) 3462	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈0593〉(51) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0478〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)